

I. 審議事項

第1号議案 2025年度事業報告承認の件

2025（令和7）年度 事業報告（総括）

2025年度は、共同代表理事制への移行による組織改革と、自前教室「ONCC豊中教室」の運用開始という二つの大きな転換点を迎えました。地域活動も新たに「にここ教室」や施設訪問など活発に行っています。効率的なスリム化と地域密着型の運営により、当初の赤字予想を覆し、黒字決算を実現しました。健全な財政基盤と組織力を証明した一年となりました。

1. 組織体制の刷新と効率的な運営

- 複数代表理事制への移行：理事長体制（1名）から共同代表理事制（2名）へ移行し、意思決定の迅速化と各部門間の連携強化を図りました。これに伴う定款変更も迅速に完了し、新体制での安定した運営を実現しました。
- 組織の再編：新規事業開発部の廃止や中期計画委員会の中断など、限られた役員数で効率よく事業を推進するためのスリム化を断行しました。
- 認定NPO法人の更新：今後5年間の継続認証を受け、社会的信頼を基盤とした寄付金対策や地域活動への注力を継続します。

2. 講座運営と教育事業の充実

- 受講状況：年度制・短期・公開講座など全26学科を実施し、延べ1,150名が受講しました。2024年度の実績は、延べ1,121名であり着実に増加しています。
- CA（クラスアドバイザー）体制の強化：CAリーダー制を導入し、講座運営部との連携を密にしました。「代行制度」を取り入れてCAの欠席リスクへの対応や、「他講座研修制度」の運用によって自己啓発やスキルアップに努めました。
- 自前教室の活用：「ONCC豊中教室」の開設により、設営・備品運搬の負担軽減や事務所からの迅速な応援が可能となり、運営の安定性が向上しました。
- クラブ活動の活性化：豊中教室の活用を促した結果、新たに「オカリナ」など4つのクラブが発足し、受講生、卒業生の「居場所づくり」「仲間づくり」が大きく進展しました。

3. 地域活動推進と社会貢献

- 多世代交流・福祉：「夏休み子どももの作り体験教室」を茨木・豊中の両教室で開催したほか、豊中市健康づくり支援事業「シニアにここ教室」では延べ242名が参加しました。
- ふれあい活動：視覚障がい者の方々の「ふれあい歩こう会」や、高齢者施設へのボランティア訪問「ほっとONCC」を通じ、地域に根ざした活動を継続しました。
- 地域連携：茨木市「ローズWAM祭」吹田市「みんなのSUITADAY」豊中市「すてっぷフェスタ」ほか、各行政のイベントへ積極的に参画し、存在感を高めました。

4. 広報・渉外および基盤整備

- 広報活動：ONCCニュースの発行に加え、ホームページのスマートフォン対応や動画活用

により、一目でわかる情報発信に努めました。

- IT環境の整備：豊中教室のネット環境整備やキントーンによる業務効率化を進めました。
- NASの活用：NASの保全、点検を行い、操作の習熟により事務所内でのパソコン間のデータのやり取りがスムーズになりました。
- 自前教室の確保：講義や会議、受講生のクラブ活動など新たな広がりことができました。

5. 財務状況

- 新教室の開設に伴い当初は赤字予算を編成していましたが、各部門のコスト管理と事業の効率化、受講生増などの努力の結果、最終的には黒字を達成し、健全な財政基盤を維持しました。